

広島大学大学院  
放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム  
第9回ショートフィールドビジットを実施しました

平成27年3月23日（月）から25日（水）に、本プログラム学生及び教職員の合計5名が、日本原子力研究開発機構（以下、JAEA）及び千代田テクノル株式会社にて第9回ショートフィールドビジットを実施しました。

3月23日（月）の午前中は、JAEA 原子力緊急時支援・研修センターの見学を行い、緊急災害発生時の情報収集体制や後方支援体制、リスクコミュニケーションなどについて学習しました。午後には、核燃料サイクル工学研究所にて、再処理分離精製工場を見学し、使用済燃料の再処理工程について、また、地層処分基盤研究施設を見学し、地層処分に関する基礎研究について学習しました。

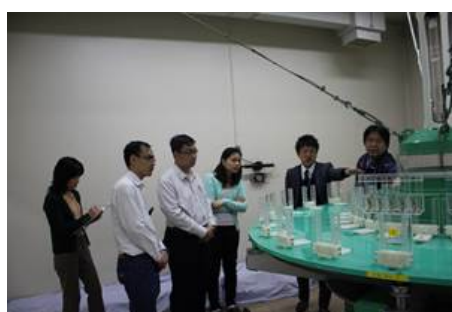
3月24日（火）には、JAEA 大洗研究開発センターにて、高速実験炉「常陽」、材料試験炉「JMTR (Japan Material Testing Reactor)」、高温工学試験研究炉「HTTR (High Temperature Engineering Test Reactor)」の見学を行いました。また、福島原子力発電所事故における被ばく状況についてお話をいただき学習しました。

3月25日は、株式会社千代田テクノルの大貫台事業所などで、ガラスバジ組立・測定工場、校正研究施設の見学を行い、ガラスバジの原理や放射線測定機器の校正の方法などについて学習しました。

参加した学生からは、「自身の専門分野ではない領域の知見や現場を見学する非常に貴重な学習機会となった」、「分野横断的に学習することで新しい知識を得ることが出来た」といった多くの意見が聞かれ、非常に充実した見学となりました。



JAEA (HTTR) 記念撮影



千代田テクノル株式会社校正施設見学